



ソフトバンクグループ株式会社

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

質疑応答

2020年11月9日

質疑応答

質問者 1：孫さんが MBO を検討しているという報道がありましたが、MBO に対するお考えを聞かせてください。

孫：ノーコメントです。

質問者 2：4 年前、アメリカ大統領選挙の結果が出た後、孫社長はいち早くアメリカに駆け付けて、トランプ大統領を訪問され、その時に、「アメリカを規制緩和していくチャンスと捉えている」と発言されていたと思うのですが、バイデン大統領になってから、投資先としてのアメリカをどう捉えているのか、どう変化していくと考えているか教えてください。

孫：AI 革命一本に絞ると申しましたが、AI 革命のまさにメッカのようなところが、シリコンバレーを中心としたアメリカにある。ですから、どういう政権であれ、どういう金利の状況であれ、継続して米国の AI カンパニーに投資をしていきたい。

併せて、先ほどのビデオにも例がありましたが、Beike などは中国の会社です。中国からも続々と AI カンパニーが生まれていますし、米国、中国、東南アジア、インドなどからも出てきています。続々と地域をこだわらずに入れていきたい。中心は米国と中国だと思います。

質問者 2：アメリカ自体の存在感が変わり得るのですか、変わらないですか。政権が変わったことによってはどうですか。

孫：変わらないと思います。

質問者 3：前回の決算発表の時に、現金＝防御であると。守りについてかなり語った印象があります。一転して、今日は守りには、ほとんど触れられていなかったと思います。4.5 兆円の資産売却についても、目標額を上回るような状況になっているわけですが、守りという期間はもう終わって、今後は積極的に投資をしていくフェーズに入っているのか、そのあたりを教えてください。

孫：十分な守りを固めながら、併せて同時に攻めにいくということです。今年の 3 月末に資金、守りを厚くすると言って、4.5 兆円の目標、ターゲット額を掲げました。

4.5 兆、持っている資産から株とかを現金化すると、暴落するし、孫は絵に描いた株だけ持っていると非難されましたが。現にこの半年間でエヌビディアへのアーム売却を含めると約 10 兆円の資金化を完了した。4.5 兆円の目標に対してエヌビディアの契約締結を完了という意味で大ざっぱに言うとするならば、10 兆円、これは許認可を待たなければいけません、10 兆円の資金化の目処

は完了したことになりますので。守りは十分で潤沢な現金が今手元にある。この潤沢な現金を持って、われわれは継続して AI 革命への投資カンパニーとして、これから一步一步進化していくということです。

質問者 4：SVF2 について、先ほど非常に好調という話もありましたが、市況環境とかも変わってきている中で、今までは自前でというところがあったと思うのですがこの好調さを反映して、外部の方の資金などのお考えはあるのか、また今動きはあるのかななどを教えてください。

孫：2号ファンド、3号ファンドと、われわれは投資家の皆さんへドアはいつも開けている。ドアは開けているのですが、あまり人気がないから来てない。その間、われわれは 10 兆円の資金も手元に入りましたので、とりあえず手金で十分賄っている状況。

でも、お世話になっている投資家の皆さんもいますし、これからもそういう方々には礼を尽くして、常にドアは開いている状況です。

質問者 5：先ほどの質問と関連しますが、10 兆円の使い道について。例えば、株の買い戻しを行う、2 兆円の株のバイバックを考えている、どんどん SVF2 に入れる、あるいは違う使い道、新運用会社に入れてテクノロジー株に運用するとか、あとは SPAC の報道もありましたが、どのように使うつもりか。

孫：十分にバランスを考えながら、いろいろな選択肢を常に毎日図りながら検討する。あらゆるオプションを手元に持っておくことが、守りを固めながら攻めることに大事だと思います。

前回の決算発表で馬防柵という、武田軍の騎馬武者が馬で攻めてくるのから、守るための柵の写真をお見せしましたが、あの柵の間には鉄砲があるのです。鉄砲で撃ちながら柵で守る。このように、守りと攻めと両方が実は大事だと思っておきまして、馬防柵、守りを固めると言ったときも、守りをしっかりと、立てた目標の 4.5 兆円を上回る資金を手元に集めて、その上で、常にいろいろな角度で攻める選択肢は手元に持っておこうと。われわれとしては、その構えができたということです。

質問者 6：今後の新規投資について、まずは、上場株を 9 割でいきますというお話でしたが、もう少し具体的にどういう形を考えているのか教えてください。例えば、出資する地域であったり、その出資比率、SVF のように 20% から 40% という枠内でやるのか、もっと少額投資になるのか。ロングタームで投資をするのか、ショートタームで投資をするのかなど、上場株投資について教えてください。

孫：上場株投資については、まだテスト運用を開始したばかりです。テスト運用ですが、上場株で、先ほど名前を公開しましたが、これらは皆大型株で、十分に流動性を持っている株ですから、その気になれば売却も2~3日で終わる。買うのも2~3日で買えるし、売却も2~3日で終わる。

つまり、現金に近いぐらいの運用の利便性がある。大型株ですから、何十%も買うようなことをもくろんでいるわけではない。SVFは10%から40%ぐらい、平均20%前後所有して、大体筆頭株主であることが多いのですが、上場株については、せいぜい数%程度で十分ではないかなと思っています。数%でも大型株ばかりですから、それなりの位置付けにはなるでしょうし、名前が出た会社のCEOは私の知り合いばかりです。そういう意味では群戦略としてのいろいろな提携も、少しはしやすくなる可能性があると思っています。

でも、テスト的に始めたばかりですから、これから様子を見ながら考えるということです。

質問者6：時価総額次第だと思うのですが、例えば買収というシナリオも考えられるでしょうか。

孫：投資会社になったとはっきり申し上げましたので、事業会社のように買収をして、自らコントロールしてというところにわれわれの思いがあるわけではないということです。

質問者7：今、会社を買収してコントロールをするつもりはないとおっしゃいましたが、これだけの資金があって、あらゆるオプションを持っていく中で、上場株だけではなく、今後、先ほどの話にもあったモビリティの分野など、他にもし関心のある分野で、スプリントやアームのような100%を取得して買収するというのは、もう孫社長の中ではオプションとしてはないのでしょうか。

孫：全くゼロかという、そこまで限定してしまうと選択肢が狭まりますが、現時点では、少なくとも99%ぐらい考えていない。

それよりも、この投資会社としてのポジション、AI革命を一気に進めていくためには、僕自身がオペレーティングカンパニーのCEOとか会長とかになると、もうそれだけで時間が取られますので、どうしても技が窮屈になると思います。

質問者8：上場株について、リスク資本の出し手となるというお話がありましたが、上場株に関しては、SVFのような未上場株の投資と違って、数多の機関投資家だったり、個人投資家だったり、すでに投資をする人の存在があるかと思うのですが、その中で、あえて孫さんがSBGとして、新会社として投資をする意味はどういうところにあるのか。この投資に関していろいろな臆測も生んでいましたが、誰がSVFの責任者をやっているのか、どういう体制でやっているのか。

孫：基本的に上場している大型株がほとんどですから、われわれが存在しなくても、アマゾン、フェイスブックはすでに皆立派に成功していますし、これからも成功し続けるのだらうと思います。ですから、われわれの存在意義は彼らにとっては大したことはないかもしれませんが、われわれを含めて、資本市場で継続して株式を投資していくことは、彼らが株式の時価総額を使って買収をすることにも役立つでしょうし、間接的な意味では、資本市場そのものが応援することにはなるのだらうと。

われわれがいなくても彼らは成功できる。でも、われわれも含めた資本市場そのものは、彼らの継続的成長には欠かすことができないものだらうと思います。

SVFのように、われわれが直接的にリスク資本を上場前に投資するのは、貢献する部分が比率としては大きいのだらうと思います。でも、SBGの株主から見れば、それもこれも含めて、とにかくトータルで Net Asset Value がちゃんと増えていくように、しっかり頑張れというのが、恐らく株主の皆さんが思われるのではないかと思います。

もちろん上場株の場合ですと、SBGを経由しなくても投資家の方は直接自分で買えるわけですから。孫さん、あんたの力を借りなくても自分で直接買えます。あんたの存在意義は何ですかというと、直接買えるんだけど、SBG経由だと半額で買えますよと。今、SBGが持っている、先ほどの Net Asset Value、半分の時価総額で今、SBGの株価が付いているわけです。

ですから、直接アマゾンだ、フェイスブックだ、皆さん買えますけれども、アリババも買えますが、ワンクッション、SBGを通じて買えば、半額で買えると。同じ株が半額で買えると。悪い話ではないのではないかと思います。

質問者 8：投資会社の体制、責任者は。

孫：私自身毎日関わりまして、専門のチームを組成して、強化しているところです。

質問者 9：投資会社として、ポートフォリオの中の米中バランスをどのように考えているのか教えてください。30兆円規模のポートフォリオのうち、20兆円が時価でアリババになっていると思います。こういった環境の中で、中国のポリティカルリスク、政治リスクをどのようにご覧になっているかも踏まえて教えてください。

孫：まさにそういうことも含めて、われわれがアリババ一辺倒に偏り過ぎているというご指摘は、まさにその通りだと思います。だから SVF で続々と増やすし、かつ非上場株だけではアリババの成長が大き過ぎて、SVFで投資しても、投資してもどんどん大きくなりますので、比率が一向に改善しないことになりますので、上場株も含めて、全体のバランスをより適正なものにしていく。

ただ、アリババの成長はこれからも続く私は心底信じていますので。アリババの株を売って多様化するというよりは、アリババ株をアセットファイナンスの担保として適切なレベルで活用しながら、あるいはその他の調達手法を使いながら、資産の多様化を図っていきたいと思っています。

質問者 10：孫さんが上場株への投資について言及し始めたのは、比較的最近のこのように感じのですが、こういった問題意識や背景があって上場株に深く目を向けることになったのか教えてください。

孫：今、申し上げた通り二つです。一つはAI革命に集中する。AI革命は未上場の会社だけではなく、本命は上場会社もAI革命の本命として、これからどんどん進むだろう。まだ彼らにとってもAI革命は始まったばかりですが、AI革命の本命中の本命は、実はGAFGAにありと思っている。彼らを中心に、これからわれわれのポートフォリオに入れていく。これが1点ですね。

もう一つは、アリババに偏り過ぎているところで、それを改善する。この2点です。

質問者 10：簡単に事実確認をさせていただきたいのですが、4.5兆円の資金化プログラムの枠を超えて、大きく現金を積み上げたわけですが、先ほどのプレゼンの内容だと、9月末時点で上場株を結構保有されていると出ていました。その資金化した資金を使って、そういった上場株も買い進めていたという理解でよろしいでしょうか。

孫：それも一部活用しています。でも、十分お釣りが来ているので、上場株を買うのでも、アセットファイナンスで来ますから、アセットファイナンス株そのものをある程度担保に入れて、それ自体もアセットファイナンスしたりできます。今回資金化したお金は、さらにもう少し貯金が今たまっている状況です。

質問者 11：ソフトバンクグループは今、竹芝の新オフィスに本社を移転中ですが、孫さんご自身の活動拠点も汐留の本社から全て移るのでしょうか。あるいは一部汐留に残るか、それとも別の所に拠点を構えたりすることはあるのでしょうか。

孫：いや、今度の新本社ビルに私も完全に移ります。

質問者 12：コーポレートガバナンスの強化ということで、新たな取締役、それから執行役員の体制を発表されました。これについてももう少し、意義とどんな変化が出てくるのかを教えてください。クラウレ氏、佐護氏、ミスラ氏、このお三方はこれまで取締役だったと理解しています。今後、取締役ではなくなるのですが、これは権限がどのように変化するのか。権限が弱まるのか、強くなるのか、この辺も併せて教えてください。

孫：権限とかは、従来通り全く変わりません。今までも彼らが取締役会で、自らがこういう案件で、こう実行したいと説明し、他の役員の方々がそれをやって良いとか、駄目ということを審議し、管理、監督する立場でした。

これからも、彼らは今までと同じように新しいプロジェクト、そのプランを説明し、許可を得て、結果を報告する形です。これは今までと変わらないです。

変わるのは社外役員の比率が今までは少なかったと。社外役員の比率を増やして、社内のお手盛りにならないように。一番世の中で一番、管理、監督すべきは孫正義だろうということだと思いますので。社内の役員の比率が減れば、当然パワーバランスとしては好き勝手にしくくなる。これこそがガバナンスだということです。

本来は、今年の6月にやるべきだと検討したのですが、今年の6月には残念ながら間に合わなかった。

一般的に言うと、来年の6月にそういう体制を変えることになるのですが、体制の準備ができたので、良きことをするならば、待つ必要はないだろうということで、半年早めに実行することを決めたとということです。

質問者 13：SBGとして、株式市場に上場していることのメリット、デメリットを教えてください。

孫：メリットは、一般的に言われている通りたくさんあります。デメリットも、少なくとも僕にとってはいくつかある。両方あるので日々悩んでいる。いろいろなうわさもありますが、日々悩んでいるということです。

質問者 14：冒頭で、Zoomで会議をされているとお伺いしました。これまで投資スタイルについて、非常に直感力を信じて投資をされるということで知られております。Zoom上のミーティングでも直感力は働くのでしょうか。併せて、なかなか先行きが読めないところもあると思いますが、このコロナ禍がいつまで続くというシナリオを持っていますか。

孫：来年の秋まではコロナの問題はくすぶると思います。来年の裾野くらいまでは、ワクチンができたとしても、それを十分に広めて、効果が行き渡るのに、そのぐらい時間がかかるのではないかと。ですから、急に晴れやかな空になることではない。徐々にだと思います。

でも、Zoomを毎日朝から晩まで使っていて、これも悪くないなど。大体海外出張に1カ月に2回ぐらい行っていて、常時時差ぼけ状態で体もきつかった、時間ももったいなかったのですが、それ

がなくなってみると、かなり健康になりました。毎年、気管支ぜんそくとかになっていたけど、今年は一度もならないということで、相当体も健康になりましたし、時間も有効に使えています。

一方、直感力という話ですが、Zoomが良いのは、顔がアップで相手、しゃべる人も出てきますし、資料も共有しながらその場でやっているとまるで目の前にいるような感じ。最近は夜、ワインを飲みながら、食べながら Zoom で会議をやっている。毎日が Zoom 飲み会、食べ会状態で、海外とそれをやっているということで、相当生産性が上がっていると思います。

Zoom で会っただけで投資を決めた比率については、最近はまだそればかりです。最近毎週のように新規の投資を行ったり、審議したりしていますが、相手の起業家と Zoom で初めて会って、もちろん事前の資料とか調査をわれわれのチームが行っているのですが、最終的には必ず私が起業家に会いますが、Zoom での会合は大変有効に機能している。ニューノーマルだなと。これも新しいライフスタイルとして世の中にどんどん広がっていくのだろうなと実感しています。

日頃から思っておられる、SBG って一体何なんだということの、少しは今日お答え、理解するのに役立ったのではないかと期待しています。ありがとうございました。

IMPORTANT INFORMATION

Disclaimers

This presentation provides relevant information about SoftBank Group Corp. (“SBG”) and its subsidiaries (together with SBG, the “Company”) and its affiliates (together with the Company, the “Group”) and does not constitute or form any solicitation of investment including any offer to buy or subscribe for any securities in any jurisdiction.

This presentation contains forward-looking statements, beliefs or opinions regarding the Group, such as statements about the Group’s future business, future position and results of operations, including estimates, forecasts, targets and plans for the Group. Without limitation, forward-looking statements often include the words such as “targets”, “plans”, “believes”, “hopes”, “continues”, “expects”, “aims”, “intends”, “will”, “may”, “should”, “would”, “could” “anticipates”, “estimates”, “projects” or words or terms of similar substance or the negative thereof. Any forward-looking statements in this presentation are based on the current assumptions and beliefs of the Group in light of the information currently available to it as of the date hereof. Such forward-looking statements do not represent any guarantee by any member of the Group or its management of future performance and involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, including but not limited to: the success of the Group’s business model; the Group’s ability to procure funding and the effect of its funding arrangements; key person risks relating to the management team of SBG; risks relating to and affecting the Group’s investment activities; risks relating to SB Fund (defined as below), its investments, investors and investees; risks relating to SoftBank Corp. and the success of its business; risks relating to law, regulation and regulatory regimes; risks relating to intellectual property; litigation; and other factors, any of which may cause the Group’s actual results, performance, achievements or financial position to be materially different from any future results, performance, achievements or financial position expressed or implied by such forward-looking statements. For more information on these and other factors which may affect the Group’s results, performance, achievements, or financial position, see “Risk Factors” on SBG’s website at https://group.softbank/en/ir/investors/management_policy/risk_factor. None of the Group nor its management gives any assurances that the expectations expressed in these forward-looking statements will turn out to be correct, and actual results, performance, achievements or financial position could materially differ from expectations. Persons viewing

this presentation should not place undue reliance on forward looking statements. The Company undertakes no obligation to update any of the forward-looking statements contained in this presentation or any other forward-looking statements the Company may make. Past performance is not an indicator of future results and the results of the Group in this presentation may not be indicative of, and are not an estimate, forecast or projection of the Group's future results.

The Company does not guarantee the accuracy or completeness of information in this presentation regarding companies (including, but not limited to, those in which SB Funds have invested) other than the Group which has been quoted from public and other sources.

Regarding Trademarks

Names of companies, products and services that appear in this presentation are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

Important Notice – Trading of SBG Common Stock, Disclaimer Regarding Un-sponsored American Depository Receipts.

SBG encourages anyone interested in buying or selling its common stock to do so on the Tokyo Stock Exchange, which is where its common stock is listed and primarily trades. SBG's disclosures are not intended to facilitate trades in, and should not be relied on for decisions to trade, un-sponsored American Depository Receipts ("ADRs").

SBG has not and does not participate in, support, encourage, or otherwise consent to the creation of any un-sponsored ADR programs or the issuance or trading of any ADRs issued thereunder in respect of its common stock. SBG does not represent to any ADR holder, bank or depository institution, nor should any such person or entity form the belief, that (i) SBG has any reporting obligations within the meaning of the U.S. Securities Exchange Act of 1934 ("Exchange Act") or (ii) SBG's website will contain on an ongoing basis all information necessary for SBG to maintain an exemption from registering its common stock under the Exchange Act pursuant to Rule 12g3-2(b) thereunder.

To the maximum extent permitted by applicable law, SBG and the Group disclaim any responsibility or liability to ADR holders, banks, depository institutions, or any other entities or individuals in connection with any unsponsored ADRs representing its common stock.

The above disclaimers apply with equal force to the securities of any of the Group which are or may in the future be the subject of unsponsored ADR programs, such as SoftBank Corp. or Z Holdings Corporation.

Notice regarding Fund Information contained in this Presentation

This presentation is furnished to you for informational purposes and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in any fund managed by a subsidiary of SBG, including SB Investment Advisers (UK) Ltd. (“SBIA”) and any affiliates thereof (the “SB Fund Managers” and each an “SB Fund Manager”) (such funds together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle collectively, the “SB Funds” and each an “SB Fund”). For the avoidance of doubt, the SB Funds include, among other funds, SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund I”) and SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund II”), which are managed by SBIA and its affiliates.

None of the SB Funds (including the Vision Fund I and Vision Fund II), the SB Fund Managers (including SBIA), any successor or future fund managed by a SB Fund Manager, SBG or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of the SB Funds or any other entity referenced in this presentation, or future performance of any successor or the future fund managed by a SB Fund Manager.

Information relating to the performance of the SB Funds or any other entity referenced in this presentation has been included for background purposes only and should not be considered an

indication of the future performance of the relevant SB Fund, any other entity referenced in this presentation or any future fund managed by an SB Fund Manager. References to any specific investments of an SB Fund, to the extent included therein, are presented to illustrate the relevant SB Fund Manager's investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments of an SB Fund may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described in this presentation do not represent all of the investments made by the relevant SB Fund Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed therein were or will be profitable.

The performance of an SB Fund in this presentation is based on unrealized valuations of portfolio investments. Valuations of unrealized investments are based on assumptions and factors (including, for example, as of the date of the valuation, average multiples of comparable companies, and other considerations) that the relevant SB Fund Manager believes are reasonable under the circumstances relating to each particular investment. However, there can be no assurance that unrealized investments will be realized at the valuations indicated in this presentation or used to calculate the returns contained therein, and transaction costs connected with such realizations remain unknown and, therefore, are not factored into such calculations. Estimates of unrealized value are subject to numerous variables that change over time. The actual realized returns on the relevant SB Fund's unrealized investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions and circumstances on which the relevant SB Fund Manager's valuations are based.

Past performance is not necessarily indicative of future results. The performance of an SB Fund or any future fund managed by an SB Fund Manager may be materially lower than the performance information presented in this presentation. There can be no assurance that each SB Fund or any future fund managed by the relevant SB Fund Manager will achieve comparable results as those presented therein.

The actual realized return on unrealized investments by an SB Fund may differ materially from the performance information indicated in this presentation. No assumption should be made

that investments identified and discussed in this presentation were or will be profitable, or that investments made in the future will be comparable in quality or performance to the investments described therein.

Third-party logos and vendor information included in this presentation are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that an SB Fund Manager, an SB Fund's portfolio companies, any future portfolio companies of a future fund managed by an SB Fund Manager or SBG will work with any of the firms or businesses whose logos are included in this presentation in the future.

SBIA manages separate and independent operations and processes from those of SBG and any SB Funds managed by SBIA, including the Vision Fund I and the Vision Fund II, are solely managed by SBIA.

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下 SBG と併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBG の重要な経営陣に関するリス

ク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SB ファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBG のホームページの「事業等のリスク」

(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SB ファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBG の普通株式の取引、スポンサーなし ADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBG の普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBG の開示は、スポンサーなし ADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADR の取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBG は、SBG の普通株式に関するスポンサーなし ADR プログラムの設立又はそれに基づき発行される ADR の発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支

援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBG は、ADR 保有者、銀行又は預託機関に対し、(i)SBG が 1934 年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBG のホームページに、SBG が証券取引所法ルール 12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づく SBG の普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG 及び当社グループは、SBG の普通株式を表象するスポンサーなし ADR に関連して、ADR 保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社や Z ホールディングス株式会社などの、スポンサーなし ADR プログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又は SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びその関係会社を含む SBG の子会社（以下「SB ファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SB ファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SB ファンドは、他のファンド同様、SoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 1」）と SoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 2」）を含み、それぞれ SBIA とその関係会社によって運用されています。

SB ファンド（ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 を含む）、SB ファンド運用会社（SBIA を含む）、SB ファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG 又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフ

パフォーマンスに関する情報は SB ファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又は SB ファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SB ファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連する SB ファンド、本資料に言及されるその他のファンド又は SB ファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SB ファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連する SB ファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SB ファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連する SB ファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載される SB ファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連する SB ファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連する SB ファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連する SB ファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SB ファンド又は SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォ

パフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各 SB ファンド又は関連する SB ファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SB ファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SB ファンド運用会社、SB ファンドのポートフォリオ会社、SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又は SBG が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA は、SBG から別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド 1 及びビジョンファンド 2 を含む SBIA によって運営されている SB ファンドは、SBIA 単独で運営されています。